

日野川源流米は、 どれも美味しいんです。

日野郡産米レベルアップ推進協議会が主催する日野郡(旧溝口町含む)産コシヒカリの品質を競う「日野川源流米コンテスト」も今回で第10回目を迎えました。

今回は、去る11月11日(日)に鳥取西部農協直売所ふれあい村アスパル(西伯郡日吉津村)を審査・表彰の会場として賑やかに開催されました。



コンテスト受賞者

甲乙つけがたい美味しさ

今回出品されたお米は、全部で264点。事前に、機械により「粒の揃い」や「食味値」を検査し、上位10位までの順位をつけておきま。そして、上位4位までのお米について、コンテスト会場にて、ご来店のお客様150名に炊いたお米を実際に食べて審査していただきました。

審査に参加していただいたお客さまからは、「どれも美味しくて甲乙つけがたい!」との嬉しい声が上がっていました。

審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞3点が次のとおり決定しました。

★ 最優秀賞(鳥取県知事賞)

・三上惇二さん(農事組合法人エコ

ファームHOSOYA、日南町)

★ 優秀賞

・松本洋一さん(松本優裁、日南町)

・田邊拓克さん(日南町)

・佐伯忠重さん(海藻米研究会、日南町)

その他、上位4点につぐ6点については奨励賞、食味値の計測結果が最高点であったものに特別賞が、それぞれ表彰されました。

会場を盛り上げた催し

今回のコンテストは、記念すべき第10回目ということもあり、会場では日野郡江府町貝田地区の郷土芸能団体「菖風社(しようふうしや)」による荒神神楽が披露され、迫力ある演舞にご来場の皆さまも喜んでおられました。

この他にも、日野町の農産物加工所「大夢多夢(たむたむ)」による日野郡産新米おにぎりと名物だんご汁の無料試食、お米を美味しく炊く相談コーナー(みずほ米穀株式会社)、日野郡の米直販農家や産地紹介等も行われるなど、日野郡米の美味しさを伝えることができました。



最優秀賞受賞

三上惇二さん

全国に通用する米を

農事組合法人エコファームHOSOYAでは、日南町細屋地域で安心、安全で美味しい米作りを目指して鳥取県認証の特別栽培米を作っています。

農薬を減らし、化学肥料は一切使わず中海の海藻をベースにした有機肥料を使っています。この有機肥料のミネラル成分がほ場を豊かにしてくれ、稲の生育を促し、食味を良くしてくれるんです。ここ細谷地域で作られた米を食べた方からは、モチモチ感や、甘味、うま味があつて、美味しいという声をいただきます。

今後の目標は、全国で通用する米をつくることです。そのためには、この地域の米をみなさんに知っていただき、高品質の米を安定的に供給できるよう収穫量を増やすことが必要です。今回の受賞が、地域みんなの励みになり、米作りのレベルアップにつながればうれしいです。

